



富士見町6年 安藤菜記者

私は、映画「千と千尋の神隠し」が大好きなので、オルゴールの曲は映画に出てくる「いつも何度でも」にしました。とても好きな曲なので、上手に作れてうれしかったです。作ったオルゴールは、一生の宝物にしたいです。



原村6年 小谷大河記者

オルゴールの歴史で印象に残ったのは、オルゴールの語源です。オランダ語の「ウォルゴル」で、オルガン、音のでる箱—という意味です。どうして「ウォルゴル」が「オルゴール」に聞こえたのかなあ？



茅野市4年 伊野翔真記者

オルゴールそのものでは、いつもきいているような音は出ません。木やガラス、陶器などの箱に入れてひびかせると、あのようなきれいな音色になるのです。英語では「ミュージックボックス」というそうです。オルゴールの作りをよく言い当てていると思います。



上田市6年 保母彩葉記者

オルゴール作りを体験しました。ドラム(つつ型の部品)についているピンが、くし歯(くしのよな部品)をはじいて音が出ます。組み立ててみるとよく分かりました。音の調整がむずかしい作業でしたが、きれいな音が流れた時はとてもうれしかったです。



信毎こども新聞編集局より



地域活動部は4月30日から「読者センター」と一緒になります。地域活動部は2008年4月に始まり、こども新聞を担当してきました。みなさんに覚えてもらった地域活動部の名前はなくなりますが、読者センターの一員となって、よりパワーアップします。

地域活動部のメンバーはほぼそのまま、読者センターに移ります。読者センターはこれまで主に小学校への出前授業や会社案内を担当してきました。これからはこども新聞も担当します。一緒になると、スタッフが10人以上の大きなグループになります。次号でメンバーを紹介します。お楽しみに。

読者センターに移っても、電話番号(026・236・3110)とファクス番号(026・236・3193)は変わりません。ただ、郵便のあて名は「信濃毎日新聞読者センターこども新聞係」に変わります。注意してくださいね。

2012年10月から担当してきましたが、私は4月30日から会社の中の総務局というところに移ります。空港や消防署、美術館や博物館、ホールの舞台裏など、いろいろな所に取材教室に行きました。ロケットやロボット、恐竜、影絵など、こどもスクールも楽しかったですね。これからも、信毎こども新聞をよろしくお願ひします。皆さんの記事を楽しみにしています。お元気で。ありがとうございました。



宮崎静致

読者センターと一緒にあります

しんかんせん いまむかし

ぶん・しゃしん もちだあきとし 小峰書店 1200円+税

新幹線に乗ったことはありますか？3月14日には、北陸新幹線(長野経由)が金沢まで開通しました。今話題の新幹線をまとめた本です。



最初の東海道新幹線が走ったのが1964年10月1日。昨年で50年が過ぎました。

この本には、最初に走った先頭が丸い形の「0系」から、北陸新幹線の「E7系・W7系」まで、すべての新幹線が載っています。

最初は丸い先頭だったのが、だんだん細長くなっていく様子が見えます。新幹線のお医者さん「ドクターイエロー」や、リニア新幹線の「L0系」も載っています。

最初から読んでいくと、新しい新幹線から古い新幹線へたどっていくことができます。後ろからも読んで、今度は古い新幹線から新しい新幹線へ変わっていきます。

時速や名前、座席数、走っている場所も分かります。これを読んで「新幹線はかせ」になりましょう！

本のとびら